

でっち羊羹 DAY in 修学院

とっても幸せな笑顔でしょう。美味しかったんだもん。今度つくってみようっと！



でっち羊羹の伝承イベントが、2015年10月18日 午前時 10 時～12 時に左京区修学院七町公民館にて行われました。修学院の農家さん方と京都大学大学院おばんざい研究会との共同開催です。修学院からは先生として西村さん他4名、おばんざい研究会からはスタッフ3名、そして参加者23名（当日欠席2名）で行いました。参加者の方々の年齢は、4歳から80歳まで幅広く、古くからの知恵と新しいパワーを感じる左京区ならではの楽しい時間となりました。



でっち羊羹 DAY in 修学院 イベントを振り返って。

左京区は歴史と文化の町、そして様々な年代の人々がいる街です。古くから住む人、新しく来た人が一緒に暮らす街でもあります。そんな多様な価値観を持つ人たちが、一緒にすることができて、楽しい時間を共有することができるものは何か。それはやはり『食』でしょう。美味しいものを作ること、食べることが一番です。

左京区修学院地域には様々な食に関わる文化があります。でっち羊羹、菜の花漬けなど、これらの食文化には、地域の歴史や生活環境そして人々の楽しみや悲しみなどが反映されています。食を知ることは、歴史を知ること、環境を知ることそして人を知る事でもあるのです。

今『食の地位』が下がっています。携帯電話は便利ですが、人を幸せにできるのでしょうか？ 時間は大切ですが、たまにはのんびりと古い時代を思い描き、懐かしい日本の味に感動してみたいかがでしょう。

そんな思いでこのイベントを開催しました。小さい子供からお年寄りまで一緒に、そして失敗もありましたが楽しい時間を過ごすことができたこと、さらに古くからの庶民のお菓子であってもとても美味しかったことなど色々なものを得ることができました。このイベントは大成功だったと思います。何人もの方が、こんどは自分だけで作ってみると言っていたこと、それが一番の喜びでした。西村さん他、ご協力頂いた皆さまに感謝です。